

Daily Market Report

ナフサ C&F JAPAN 評価値(ドル/MT)

C&F JAPAN 評価値

5月後半着	1,044.50	(16.25)
6月前半着	1,040.00	(16.00)
6月後半着	1,037.00	(16.00)
7月前半着	1,035.00	(15.75)
7月後半着	1,033.25	(15.25)

OPEN SPEC NAPHTHA スポット取引プレミアム評価

(千葉到着ベース)	COUNT30日前	COUNT45日前
5月前半着	+ 8.50	+ 4.75
5月後半着	+ 6.50	+ 4.00
6月前半着	+ 3.88	+ 2.00
6月後半着	+ 2.50	+ 0.88

算出時の原油価格(ドル/bbl)

MONTH	MAY
WTI	110.30
BRENT	122.65

本日午前 10 時時点での理論上の計算値、()内は前営業日の評価値との比較

[マーケットコメント]

7日のナフサ C&F JAPAN は 1028.5 ドルと続伸、クラックスプレッドは反発。ナフサ価格は 1000 ドルを大幅に超え、高値に対する警戒感が強まっている。一方、石化製品価格の上昇は見られず、クラッカーの-margin は悪化している。地震による景気後退は懸念されるなか、買い手の勢いは見られず、原油の上昇ペースに追いついていけない状態にある。このような状況下、5 月後半到着玉に対するエンドユーザーのスポット調達が始まった。margin は悪化しているものの、韓国をはじめ台湾などで旺盛なナフサ需要が見込まれ、さらに震災後の日本のクラッカーも稼働を再開していることから、需要が増えることが見込まれる。5 月前半玉を買い残しているエンドユーザーも散見されており、アジアのファンダメンタルズはタイト感が強まっている可能性が高い。プラッツタイムは売り買いバランスした状態で始まったが、韓国のエンドユーザーのスポット玉の調達レベルが予想以上に高かったことから一気に買い手の勢いが増し、クラックスプレッドは反発した。本日のアジア市場は買戻し先行の展開が見込まれる。

ナフサ MOF / 国産ナフサ価格予想値および評価値

	ナフサ MOF 価格				国産ナフサ価格	
	ドル/MT	ドル/円	円/KL	速・確報値/(前日比)	予想値/評価値	速報値/(前日比)
10-Oct	700.07	83.42	40,587	40,712		
10-Nov	747.36	81.39	42,273	42,222		
10-Dec	796.85	83.61	46,305	46,634		
10-4Q			43,079	43,101	45,100	45,100
11-Jan	857.45	82.91	49,410	49,202		
11-Feb	882.61	82.33	50,505	50,204		
11-Mar	909.37	82.49	52,133	(±0)		
11-1Q			50,513		52,500	(±0)
11-Apr	982.57	82.45	56,303	(61)		
11-May	1,031.59	85.17	61,064	(375)		
11-Jun	1,046.07	85.18	61,929	(678)		
11-2Q			59,765		61,800	(400)
11-Jul	1,043.86	85.20	61,811	(651)		
11-Aug	1,042.07	85.22	61,719	(636)		
11-Sep	1,040.57	85.24	61,646	(632)		
11-3Q			61,725		63,700	(600)
11-Oct	1,039.13	85.27	61,581	(623)		
11-Nov	1,037.85	85.30	61,528	(626)		
11-Dec	1,036.58	85.34	61,478	(638)		
11-4Q			61,529		63,500	(600)
12-Jan	1,035.10	85.38	61,420	(643)		
12-Feb	1,033.17	85.43	61,340	(649)		
12-Mar	1,030.73	85.48	61,232	(674)		
12-1Q			61,331		63,300	(600)

予想値は太字での表記、MOF(国産)価格の評価値は予想値ではなく本日午前 10 時時点での理論上の計算値

(前日比)は前営業日の予想値および評価値との比較、換算比重は 0.695、為替レートは実勢為替相場に基づいた通関レートおよび為替先物マーケットから算出

[ナフサ MOF/国産ナフサ価格予想値および評価値コメント、マーケットコメント]

本日午前 10 時時点の 11 年 1Q 国産ナフサ予想値は 5 万 2500 円と予想値に変更はない。為替通関レートは円高に振れたものの、本日のナフサ C&F JAPAN 評価値の上昇想定幅が勝り、MOF 評価値は続伸することが見込まれる。11 年 2Q 国産ナフサは前営業日比 400 円高の 6 万 1800 円の評価。

11年1Q国産ナフサ予想値および評価値(円/KL)



11年2Q国産ナフサ予想値および評価値(円/KL)



太線は弊社予想値および評価値の推移、細線はナフサ C&F JAPAN 為替および比重(0.695)を乗じた数値の推移

Daily Market Report

原油・石油製品相場(前営業日)

Crude Oil(ドル/bbl)

		close	chg
NYMEX / WTI	MAY	110.30	(1.47)
	JUN	110.88	(1.40)
ICE / BRENT	MAY	122.67	(0.37)
	JUN	122.26	(0.33)

Oil Products(セント/gal) (ドル/MT)

		close	chg
NYMEX / RBOB	MAY	318.65	(0.64)
NYMEX / Heating Oil	MAY	320.60	(1.48)
ICE / Gas OIL	APR	1,024.50	(1.00)

[マーケットコメント]

7日の原油相場は、ロンドン市場、NY市場ともに続伸。北アフリカおよび中東の政情混乱、米雇用情勢の改善などを背景に買いが先行し、WTI期近5月限は110ドル台に乗せた。一時110.44ドルまで上昇し、期近ベースとしては2008年9月22日以来の高値を付ける場面も見られた。

産油国をめぐる地政学的リスクを背景に買い優勢の展開に。東部都市のトブルクから原油が輸出されたと報じられたが、そのトブルクへとパイプラインが通じているサルイル油田で火災が発生した。北大西洋条約機構(NATO)によると、この火災はカダフィ政権側の部隊が起こしたという。リビアのほか、産油国ナイジェリアでは、連邦議会選を9日に、16日には大統領選、26日には州議会選を控えており、同国からの原油供給をめぐる不透明感もサポート要因となっている。地政学的なリスク要因に買い支えられるなか、この日発表された新規失業保険申請件数が市場予想以上に減少したことを受け、前週の雇用統計に続き、米国の雇用情勢が改善へと向かい石油需要が増大するとの見方が広がった。心理的な節目である110ドル台に乗せると、ドル安の流れが一服したこともあり利食い売りが入った。

トピックス

「3月のエチレン生産、前月比15.0%減 = 経済産業省」

経済産業省製造産業局化学課は7日、3月のエチレン生産速報を発表した。同統計によると、3月のエチレン生産量は51万4800トンと前月から15.0%減少した。ただし、前年同月を0.1%上回っている。なお、3月に定期修理のため停止したエチレンプラント1プラント、前年同月の定修は3プラント。

「プラスチック原料の特恵関税率が2倍へ」

特恵関税制度の延長及び見直し、暫定税率等の適用期限の延長等および個別品目の関税率の改正、貿易円滑化のための税関手続の改善、税関における水際取締りの充実・強化等を内容とする関税率法等の一部を改正する法律案が、3月31日に参議院本会議で可決され成立した。4月1日からの改正に伴うプラスチック原料(従来の項番号13)の特恵関税については、鉱工業産品に設定している年間の特恵適用の限度枠(シーリング)を廃止し、適用する特恵税率を定める。現行シーリング管理の項番号13であるポリエチレン(PE)、ポリプロピレン(PP)、ポリスチレン(PS)等の塊、粉、粒、フレーク等の特恵税率は一般の税率(MFN税率)の40%となり、以下の通り前年度の2倍となった。なお、前年度でのシーリングを超えたことによる特恵関税の適用が停止したのはタイ(10月16日)および中国(3月16日)であった。また、4月1日よりプラスチック原料などの項番号が13から9へ改正された。

LDPE, LLDPE, HDPE	-	2.6%または8.96円/kgのうちいずれか低い税率
LLDPE(コポリマー)	-	1.12%
PP(ホモ)	-	2.6%または10.24円/kgのうちいずれか低い税率
PP(コポリマー)	-	1.12%
GPPS	-	2.6%
HIPS	-	1.24%
ABS	-	1.24%

「SPS値上げへ = 出光興産」

出光興産は7日、シンジオタクチックポリスチレン(SPS)樹脂について価格改定を実施することを明らかにした。価格改定幅は、一般グレードがプラス30円/kg以上、難燃グレードがプラス50円/kg以上で、実施時期は4月25日出荷分から。昨今の中東・北アフリカ情勢の不安から原油価格が騰勢を強めており、それに伴い石油化学原料であるナフサ価格も高騰を続けている。足元の輸入ナフサ価格は1000ドル/トンを超える勢いがあり、今後さらに上昇することも予想される。原料コストの上昇によるコストアップに対して、コスト削減を続けてきたが、安定供給維持のためにも価格改定せざるを得ないと判断した。一般グレードについては、原料コストの上昇に加え、燃料・副資材など加工コストの上昇を反映。難燃グレードについては、一般グレードの改定幅に加え、難燃剤価格の高騰を反映。

「アクリル酸、アクリル酸エステルなど値上げへ = 三菱化学」

三菱化学は7日、アクリル酸製品ならびにアクリル酸エステル4製品およびオキソ製品6製品の計10製品について、価格修正を実施することを明らかにした。対象品目は、アクリル酸、アクリル酸エステル(アクリル酸ブチル、アクリル酸メチル、アクリル酸2エチルヘキシル)、オキソアルコールおよびブチルアルデヒド(2エチルヘキサノール、ノルマルブタノール、イソブタノール、ノルマルブチルアルデヒド、イソブチルアルデヒド、イソノニルアルコール)で、値上げ幅はプラス16円/kg以上、値上げ時期は4月11日出荷分より。原油高騰の影響を受けてナフサ価格が上昇しており、第2四半期の国産ナフサ基準価格は6万円/KL以上と見込まれ、大幅なコストアップとなることが確実。自助努力による吸収に努めるも、限界を超えていることから、価格修正せざるを得ないと判断した。

Daily Market Report

「スイスの Acomon 社を買収 = 三井化学」

三井化学は7日、プラスチックメガネレンズモノマーの製造販売を行っているスイスの Acomon について、同社の株主であるドイツの Auctus Capital Partners 系ファンド等および Acomon の経営陣との間で、3月31日に株式譲渡契約を締結し、三井化学の100%子会社となることを明らかにした。株式の譲り受けは4月6日に完了している。子会社化することで、従来の製品ポートフォリオに Acomon の製品を加えることによる品揃えの充実化や、Acomon の保有する全世界での販売ネットワーク活用によるプラスチックメガネレンズモノマー事業のグローバル運営体制強化といった効果が見込まれる。

「2月のLLDPE輸入単価、安値トップ10」

LLDPE の輸入はコモナーである -オレフィン)の量により、税番 3901.10-020 と税番 3901.90-010 のどちらかでの申告となり、関税率が異なる。2011年2月のLLDPE輸入実績は次のとおり。前者の輸入数量は前月比371トン増の769トン、輸入価額は9797万3000円となった。一方後者の輸入数量は同2394トン減の1万8763トン、輸入価額は26億0888万9000円となった。価額を数量で割り返した2月の輸入単価(CIF JAPAN)の計算値は、前者が前月比8円安の127円/kg、後者が同7円安の139円/kg。貿易統計上のLLDPE統計値は、汎用品と付加価値品との区別は出来ないが、税関別や国別に分けることで汎用品の輸入単価が概ね予想可能となる。貿易統計値およびそれを基に算出した単価の安値トップ10は、右表のとおり。なお、2月の通関レートは、1ドル=81.76~83.42円、日数による加重平均値は、1ドル=82.33円。

税関	国名	2011年2月		CIF JAPAN	
		数量 (kg)	価額 (1000円)	単価 (円/kg)	単価 (ドル/MT)
門司	カナダ	44,000	4,616	105	1,258 - 1,283
大阪	タイ	135,000	16,089	119	1,429 - 1,458
東京	タイ	147,000	17,810	121	1,452 - 1,482
神戸	タイ	32,000	3,924	123	1,470 - 1,500
東京	サウジアラビア	49,500	6,088	123	1,474 - 1,504
苫小牧	イラン	16,250	2,005	123	1,479 - 1,509
神戸	台湾	12,000	1,511	126	1,509 - 1,540
名古屋	韓国	28,000	3,558	127	1,523 - 1,554
四日市	マレーシア	172,900	23,337	135	1,618 - 1,651
仙台	タイ	22,000	2,999	136	1,634 - 1,667

(出所:財務省)

「2月の中国LLDPE国別輸入数量トップ10」

LLDPE

輸入先	2011年2月		CIF CHINA
	数量 (MT)	価額 (ドル)	単価 (ドル/MT)
合計	174,732	250,087,176	1,431
前月比	▼ 38,598	▼ 52,838,686	11
前年同月比	▼ 2,965	13,378,146	99
数量TOP10			
サウジアラビア	33,981	43,766,742	1,288
タイ	29,540	43,757,700	1,481
シンガポール	24,509	36,235,046	1,478
韓国	15,847	23,473,003	1,481
米国	13,501	22,321,006	1,653
アラブ首長国連邦	10,355	12,098,494	1,168
クウェート	8,217	10,868,204	1,323
台湾	6,601	9,386,280	1,422
イラン	6,548	9,902,360	1,512
カタール	5,226	7,228,516	1,383

参考

日本 輸入先	2011年2月		CIF JAPAN
	数量 (MT)	単価 (円/kg)	単価 (ドル/MT)
合計	19,532	139	1,683
TOP3			
タイ	4,417	118	1,431
韓国	3,873	136	1,649
サウジアラビア	3,377	109	1,326
スポット市況 (ドル/MT)	12月	1月	2月
CFR CHINA	1,354 ~ 1,372	1,392 ~ 1,401	1,399 ~ 1,406

(出所:中国海関総署)

「“NAP MOF PRICE AVE + 2000” INDEX = ナフサ輸入価格単純平均 + ¥2000/KL」

期間(3ヶ月)	輸入価格単純平均 + ¥2000/KL	Amerex 占有率	期間(6ヶ月)	輸入価格単純平均 + ¥2000/KL	Amerex 占有率	単位
						¥/KL
10 Oct - 10 Dec	45,200	0%	10 Jul - 10 Dec	43,900	0%	
10 Nov - 11 Jan	48,000	0%	10 Aug - 11 Jan	45,100	0%	
10 Dec - 11 Feb	50,700	0%	10 Sep - 11 Feb	46,800	0%	
11 Jan - 11 Mar	52,500	33%	10 Oct - 11 Mar	48,900	17%	
11 Feb - 11 Apr	54,900	67%	10 Nov - 11 Apr	51,400	33%	
11 Mar - 11 May	58,500	100%	10 Dec - 11 May	54,600	50%	
11 Apr - 11 Jun	61,800	100%	11 Jan - 11 Jun	57,100	67%	
11 May - 11 Jul	63,600	100%	11 Feb - 11 Jul	59,200	83%	
11 Jun - 11 Aug	63,800	100%	11 Mar - 11 Aug	61,200	100%	
11 Jul - 11 Sep	63,700	100%	11 Apr - 11 Sep	62,700	100%	
11 Aug - 11 Oct	63,600	100%	11 May - 11 Oct	63,600	100%	
11 Sep - 11 Nov	63,600	100%	11 Jun - 11 Nov	63,700	100%	
11 Oct - 11 Dec	63,500	100%	11 Jul - 11 Dec	63,600	100%	
11 Nov - 12 Jan	63,500	100%	11 Aug - 12 Jan	63,600	100%	
11 Dec - 12 Feb	63,400	100%	11 Sep - 12 Feb	63,500	100%	
12 Jan - 12 Mar	63,300	100%	11 Oct - 12 Mar	63,400	100%	

算出には本日10時時点のナフサMOF評価値及び予想値を使用。Amerex占有率は上記算出におけるAmerexのナフサMOF評価値及び予想値の使用率を示す